

一 般 質 問

平成 29 年第 3 回定例会（9 月 13・14 日）

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る
竹内きみ代	1. 認知症対策について (1) 新オレンジプランによる認知症サポーターの現状と今後の目標は。 (2) かかりつけ医を対象にした研修受講者の現状と目標は。 (3) 認知症カフェ設置についての考えは。 (4) 「もの忘れ相談プログラム」の多様な活用方法を。 (5) 成年後見制度の利用支援について。	町長 福祉課長
	2. 子ども医療費助成制度の 18 歳までの拡充について (1) 対象となる子どもは現在、何人いるのか。 (2) 医療費拡充を考えた場合の試算はどのくらいかかるのか。 (3) 充実した子育て環境を考えていく上で、18 歳までの医療費の拡充についての考えは。	町長 税住民課長
	3. 国道 24 号線上狛四丁町交差点に「和束町」への道路標識が必要と考える。国・府への要望を。 (1) お茶の京都博に合わせて観光や来訪者に優しい案内表示の設置を。 (2) ナビでは、和束井手線を案内するが改善できないのか。	町長 建設事業課長
村山 一彦	1. 猿対策について (1) 町としては、どのように考えているのか。 (2) 今年度、専門業者に依頼すべく予算化しているが実績は。	町長 農村振興課長
	2. 移住促進対策について (1) 空き家対策はどうなっているのか。 (2) 移住希望者に対し相談窓口は何課なのか。 (3) 空き家のデータベースはいかに活用するつもりか。	町長 地域力推進課長 農村振興課長

岡田 泰正	1. まちづくり特にお茶の基幹産業に取り組む姿勢、考え方を問う (1) 基幹産業のお茶農家と観光産業のバランスのとれたまちづくりの考え方とは。また、強い農業が求められようとしているが真に強い農業とは。 (2) 山なり景観資産の景観維持と、営農に対する圃場の基盤整備の充実を。 (3) 新規就農者に対しての取り組み状況と、どのような支援と課題があるのか。	町長 地域力推進課長 農村振興課長
岡本 正意	1. 簡易水道料金の大幅値上げ計画の撤回を (1) 「経営戦略」で「平成 32 年度に 25 %値上げとなる料金改定を検討する」とある事について ①平成 32 年度から「検討」ではなく「値上げ」するという事か。 ②「経営戦略」は 3 月に策定されているが、水道委員会は了解したのか。また議会への説明、報告は。 ③「25 %値上げ」の根拠は何か。 (2) 値上げした場合の住民生活への影響はどう考えているのか。生活破壊や命の危険、滞納の拡大など、どう検討したのか。 (3) 住民や議会への説明、情報公開は今後どう進めるのか。 (4) 値上げありきの計画は撤回し、再検討を。 2. 安心できる国民健康保険を (1) 府への一元化について ①標準保険税率の試算額は、いつ公表するのか。早期に公表を。 ②健診や人間ドックなど町独自の保健事業は継続する方針か。 ③一般会計からの法定外繰り入れを採用し、保険税の引き下げ、保健事業の充実等の実施を。 (2) 町独自の制度改善を ①子どもの均等割額の軽減を。 ②税、一部負担金の条例減免の基準明確化、周知徹底、適用の推進を。 ③税機構への移管中止を。 3. スズメバチの巣駆除の支援制度を (1) スズメバチの巣駆除は特に危険度が高く、専門性も必要ではないか。専門業者に委託し、負担なしで駆除できる制度の整備を。 (2) 駆除についての必要な情報提供を。	町長 建設事業課長 町長 税住民課長 町長 農村振興課長

藤井 清隆	1. コミュニティバス導入について (1) 地域交通網整備にあたって、町の幹線たる府道を通る奈良交通バスについて、存続の前提は堅持するのか。 (2) その上で、どのようなコミュニティバスをいつから導入する予定か。見解を伺いたい。 (3) 計画案に盛り込まれた、和束の中心部にコミュニティカフェを作って住民交流の拠点とする。この具体化は進んでいるのか。 (4) 公共交通利用を促進する手立てとして、計画の基本方針4に盛り込まれた諸案の具体策について伺いたい。 尚、本質問は本年3月に作成された JR 関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通網形成計画－概要版－によって行う。	町長 総務課長
	2. ふるさと納税について (1) 税納入手続の簡素化について (2) 税の使い道の説明が冗長で抽象的すぎるので、端的具体的な方がよいのではないかと考えるが如何か。 (3) 返礼品の種類を地域の特産品中心に増やすべきではないか。また、寄付金額に応じて返礼品の上限を上げるべきと考えるが如何か。	町長 総務課長